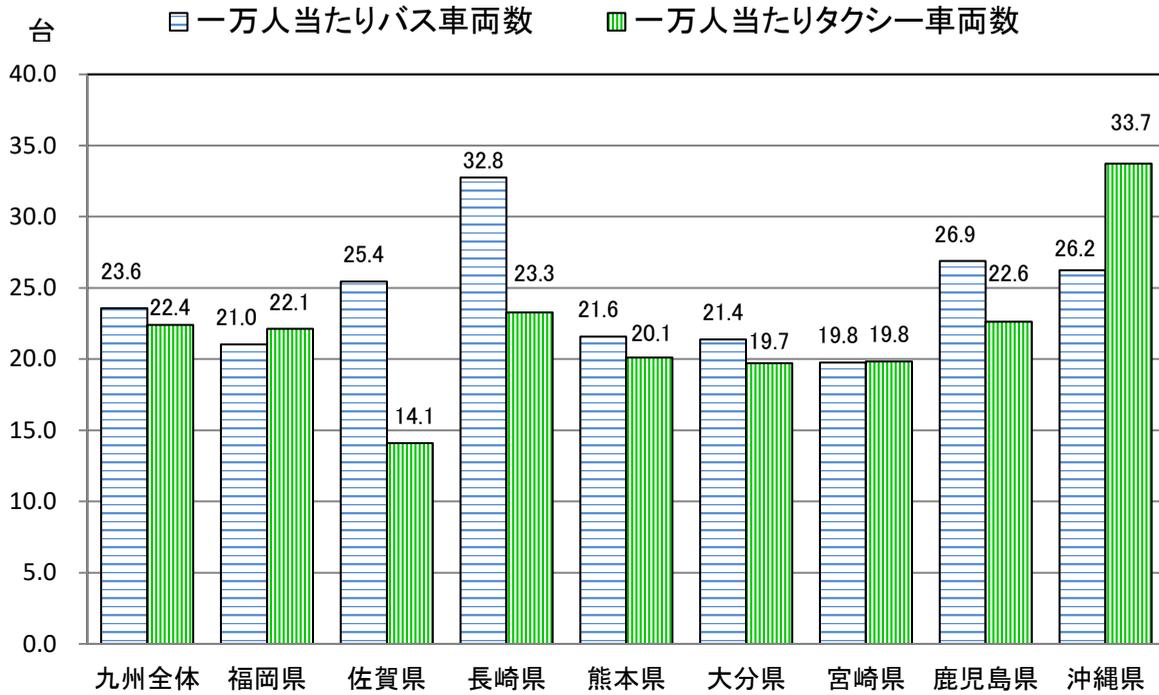


九州各県の一万人当たりバス、タクシーの車両数



解 説

【概要】

熊本県の令和2年度の乗合・貸切バス輸送人員は、21,257千人（乗合バス19,504千人、貸切バス1,753千人）となっており、平成14年度の49,973千人（乗合バス47,229千人、貸切バス2,744千人）に比べて半減（52.1%減少）した。

九州各県の一万人当たり車両数を九州全体の平均と比較してみると、バスでは長崎県、鹿児島県、沖縄県、佐賀県が平均より多く、宮崎県、福岡県、大分県が平均より少なかった。タクシーでは沖縄県が突出して多く、佐賀県、大分県、宮崎県、福岡県が平均より少なかった。熊本県はどちらも平均より若干少なかった。

○一万人当たりバス車両台数
 $\text{自家用、営業用バス台数} \div \text{推計人口} \times 10,000$

○一万人当たりタクシー車両数
 $\text{タクシー車両台数（法人車両数} + \text{福祉輸送限定車両数} + \text{個人タクシー）} \div \text{推計人口} \times 10,000$

資料出所	調査期日	調査周期
*1 「自動車輸送統計調査」 国土交通省	令和2年度	毎月
*2 「交通関連統計資料集」 国土交通省	平成31年3月31日	毎年
*3 *4 (一社) 全国ハイヤー・タクシー連合会 資料	令和2年3月31日	毎年